

12月6(土) - 7(日)開催

詳細はこちら→



岐阜県・飛騨高山

森のボタン「針葉樹林業・製材・大工の職場見学ツアー」参加者募集！

このツアーは、飛騨高山(岐阜県高山市)の林業や製材業、大工、木造建築、木工の仕事の現場や、熱意をもって仕事をしている経営者や職員、職人の声を、直接見たり、聞いていただき、皆さんの見識を深めていただきたいとの思いから、5月の広葉樹編に続き、今回は第2弾として針葉樹編を企画しました。「飛騨の匠」の歴史がつなぐ、職人氣質の現場を見学してみませんか。

飛騨高山で就業したい方はもちろん、移住を検討している方、森林業、木工業、建築業に関わる職場に就職したい学生・経験者の方、森・木と関わりのある仕事に興味のある方、森や木が好きな方、木のものづくりが好きな方、自然に関わる仕事につきたいと考えている方、ご参加をお待ちしております。

- 日 時 令和7年12月6日(土)13:00集合 ~ 7(日)12:30解散(予定)
- 参加費 無料 ※集合場所までの移動、宿泊、食事は自己負担となります。
※指定の宿へ宿泊する場合:6,000円(1泊2食)
- 募集定員 20人(先着順)
- 申込締切 **11月28日(金) 12:00まで** 申込はこちら→



訪問企業(1日目)



飛騨高山森林組合

県内最大規模の森林組合。森林技術者募集中



逢坂建材(株)

1930年創業。製材から内装仕上材を一貫生産



丸弘木材(資)

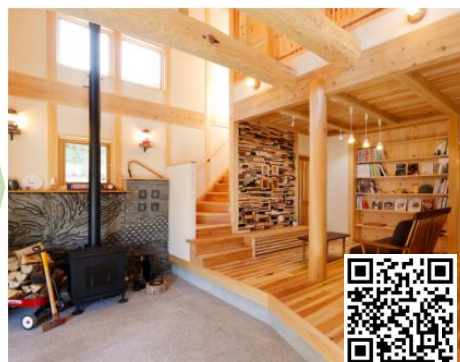
現代の仕様に合わせた製材所へ。正社員募集中

訪問企業(2日目)



(有) 渚工務店

「名前は残すな。魂残せ」を信条とする飛騨の匠



笠原木材(株)

林業と木造住宅事業を展開。正社員募集中



市役所職員(林業専門職)募集中



主催 高山市
問合せ 森林政策課
☎ 0577-35-3143

〒506-8555 岐阜県高山市花岡町 2-18

このツアー「森のバトン」は、就職したい方が希望する一事業者・業種のみを訪問する職場見学ではなく、高山市の川上(林業)・川中(選木・製材・乾燥)・川下(建築業)の一連の企業・事業者の現場をめぐるツアーです。この地域ならではの林業・木のものづくりの流れ、顔の見える人と人のつながり(連帯)のなかで働くということに触れながら、地域の人たちとの対話を通して就職を検討してもらえる機会です。ツアー後には、相談会を実施。飛騨で働くこと、暮らしについての情報もシェアしたいと思います。

DAY1 | 2025年12月06日(土)

13:00	高山駅西口前に集合
13:00-14:15	移動 イントロダクション・自己紹介
14:15-14:45	飛騨高山森林組合 荘川の森 針葉樹の伐採・植樹・手入れ
14:45-15:45	移動
15:45-16:00	【地域の木が集まる「高山木の里田地」ツアー】 飛騨高山森林組合 中間土場での集材・仕分け
16:00-16:30	達坂建材 丸太の加工から内装材の仕上げまで
16:30-17:00	丸弘木材 製材・販売
17:00-17:30	移動・ふりかえり (高山駅経由*交流会に参加しない方は途中下車)
17:30-18:00	みづの荘チェックインタイム・小休憩 場所:みづの荘
18:00-18:30	ふりかえり 場所:みづの荘
18:30-20:00	交流会(夕食会)*自由参加 場所:みづの荘

DAY2 | 2025年12月07日(日)

08:30	高山駅西口前に集合 *ツアー参加のみの方
09:00	みづの荘集合 *宿泊プランの方
09:00-09:25	移動
09:25-10:15	渚工務店 大工さんの仕事場
10:15-10:40	移動
10:40-11:15	笠原木材 木の家の見学 林業から住宅事業部までの仕事
11:15-11:45	移動
11:45-12:30	ふりかえり 場所:高山市役所 *場所変更の可能性あり
12:30	終了・お疲れさまでした!

■指定の宿のご案内

- 指定の宿(みづの荘)へ宿泊する場合は、食事代(夕食懇親会 5,000 円、朝食代 1000 円)のみ。宿泊代は主催者が負担します。
- 指定の宿以外で宿泊の場合は、各自ご予約・全額自己負担となります。(補助はありません。)夕食懇親会に参加の場合は 5,000 円



みづの荘



「森のバトン」企画の背景

飛騨地域には、家具をはじめとする木の製品をつくるための恵まれた環境があります。豊かな森・木を活かし、産業・文化が育まれてきたこの地域には、伐採・集材・造材する人、多様な樹種を見分け、選木する人、製材・乾燥・加工する人が活躍し、それぞれ高度な技術を持っています。さらに、その人たちの仕事を支える刃物を研ぐ人、塗料に詳しい人、機械のメンテナンスをする人など、顔の見える繋がり、木のものづくりを通した連帯があります。そんな中、私たちが日々木のものづくりに関わる人とのふれあいから抱かずにはいられない、ひとつの大きな問いがあります。

「自分たちが10年後も変わらず飛騨の木を使い家具を作っているだろうか？」

本企画は、この問いに向き合うことから生まれました。私たちは、森とともにある飛騨地域のものづくりが10年先、もっと先の未来も続くよう、人から人へバトンを渡していくこと・伝えていくことが必要だと感じています。飛騨地域は家具をつくるには贅沢すぎるほど整った環境だと思っています。伐採・集材・造材・選木・製材・乾燥・加工といった各工程で技術を持つ人たちがいます。(もっと言えば、刃物が研げる人がいて、塗料に詳しい人がいて、機械を直せる人がいます。)それぞれ知識と経験が必要な仕事で、私たちはそういった方々から、専門書にも載っていないような話を聞くたびにワクワクし、この先の未来を考えた思いやりのある仕事を見るたびにハッとさせられてきました。

そういった職人たちの存在をたくさんの人に知ってもらいたい。この地域で一緒に働きたいと思える人たちが増えてほしい。そして、大好きな人たちの仕事が残ってほしいと願っています。

「森のバトン」事務局
木と暮らしの制作所 松原 千明
飛騨の森でクマは踊る 井上 彩

■高山市林業就業移住支援事業のご案内

県外から高山市内へ移住して林業に就業する方に対して、県と高山市が共同で移住支援金を支給する制度「高山市林業就業移住支援事業」を設け、県外からの林業就業者を支援しています！

支援金の額
単身者 60 万円
世帯 100 万円（世帯員が 2 人以上）

対象者の要件などの詳細はこちら ➡➡

